

「地域に根差した学校を」代

教育フォーラムを開催 宮



「宮代町の教育の未来を考
える」をテーマにした教育フ

ォーラムが宮代町立図書館ホ
ールで開かれた。町立小中学
校の適正配置及び通学区域の
編成等に関する審議会の委員
が中心となって企画・運営を
した。

フォーラムでは、共栄大学
教育学部長の藤田英典教授が
「グローバル化時代の学校づ
くり・地域づくり」と題して
基調講演。高度情報消費社会
の進展などで教育基盤の構
造が変容し、学校教育の難し
さが増大していることを指
摘。「地域に根差した学校づ
くり」の大切さについて提言

6人のパネリストと参加者が意
見交換をした宮代町教育フォー
ラム＝宮代町立図書館ホール

した。
そのあとパネルディスカッ
ションが行われた。会場内の
参加者も加わった意見交流会
では、町の未来の教育に関し
て活発な意見交換が行われ
た。

宮代町立小中学校の適正配置 ～未来につながる教育環境をつくる page006

宮代の子どもは宮代みんなで育てる

宮代町学校教育担当 情報発表日: 2014年09月05 日(金)

代表電話: 0480-34-1111

total:220

 代表メールアドレス: [学校教育担当](#)

教育フォーラム2014が開催されました テーマ「宮代町の教育の未来を考える」



このフォーラムは、宮代町が取り組んでいる「小中学校の適正配置」の一環として行われたもので、町教育委員会から諮問を受けた「宮代町立小中学校の適正配置及び通学区の編成等に関する審議会」委員の皆さんが中心となって企画・運営されました。この審議会では「小中学校の適正配置」について審議を重ねていますが、その原点は「子どもたちの学びの環境をより良いものにする」ということに置いています。そして、審議を重ねる中で「地域との連携の大切さ」についても話し合われ、初めての交流機会として今回のフォーラム開催に至りました。

第1部 趣旨説明と経過報告

第1部は、審議会のワーキンググループの各メンバーから、これまでの検討経過を報告しました。

◆学校教育ワーキンググループ



- ・宮代町の子どもは宮代町で育てていこう！という発想
- ・学校は「子どもの夢を実現させることができるしくみ」
- ・地域みんなで子育てで着る環境を。

◆教育環境ワーキンググループ



- ・通学路に求められるのは「安全」
- ・学校の場所は、便利さと自然環境のバランスが欲しい
- ・子どもたちの学びの場も「安心、安全」がたいせつ
- ・さらに、「木のぬくもり」「快適な設備」も採り入れたい

◆広報ワーキング



- ・「適正配置」は、もっと地域全体で考えていきたい。
- ・子どもたちを育むのは、地域の「目」「手」「ころ」

第2部 基調講演

「グローバル化時代の学校づくり・地域づくり」をテーマとして共栄大学教育学部長の藤田英典教授から講演いただきました。



テーマの「グローバル」とは、グローバル(世界)とローカル(地域)を表しています。グローバル化時代へ対応するための「地域づくり」「学校づくり」の大切さについてお話いただきました。

《地域に根ざした学校づくり》

- 1.誇りに思える学校・地域
- 2.みんなでつくる学校と地域社会
- 3.認め合い・学びあい・高めあう「学びの共同づくり」



[講演要旨.pdf](#)

第3部 パネルディスカッションと意見交流

パネルディスカッションと意見交流では、会場の皆さんからの意見に対して各パネラーがお答えしました。



パネラーは審議会メンバーとです。藤田教授にもアドバイザーとして加わっていただきました。審議会の和井田委員(共栄大学教授)の進行で、会場からご意見をいただき、それぞれ担当するワーキンググループメンバーがお答えしました。



※フォーラム内容の詳細については、後日「報告書」としてご案内する予定です。

いましばらくお待ちください。

宮代町立小中学校の適正配置 ～未来につながる教育環境をつくるに関連した項目

- | | | | |
|-----|--|-------------|--------|
| 001 | 小中学校の適正な規模と配置 | 2013年6月26日 | 学校教育担当 |
| 002 | 小中学校の適正配置と通学区域を検討 | 2013年7月23日 | 学校教育担当 |
| 003 | 小中学校の適正配置と通学区域を検討しています | 2013年10月08日 | 学校教育担当 |